組織目標評価報告書(平成25年度)

部局名: 情報統括センター

目標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	自己評価
①-1 目標	
①-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
して 日孫こうで(主文氏)での/日韓は31日孫	
②研究領域	自己評価
②-1 目標	
②-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
③社会貢献(診療を含む)領域	自己評価
③-1 目標	公開講座として、「インターネット活用コース」、「Word基礎コース」、「親子で挑戦☆パソコン
ITに関する公開講座を実施するなど地域貢献を推進する。	→ 入門コース」及び「SNS入門コース」を開講し、学ぶ機会を提供する事を通じて、地域社会へ 貢献した。 はお、今年度より新規に「SNS入門コース」を開設し、ITを使ったコミュニケーションツールの
③-2 目標とする(重要視する)客観的指標	□変化に対応した最新の内容を提供した。参加者は、各コース合わせて延べ133人で、新規 □参加者が多いのが特徴的であった。
公開講座アンケート	JAPAN COSTE
④センター業務	自己評価
④-1 目標	①ネットワーク利用に関する利便性の向上を推進するため、全学的な無線LANアクセスポーイントの展開を継続的に進めている。情報統括センターでは、大学機能強化戦略経費(学
努めるとともに、情報リテラシー向上のための教育環境の充実を図る。 ② 岡山大学情報セキュリティポリシーの遵守を徹底するとともに、更なる情報・キュリティの向上を目的とした教育訓練を実施する。 ③ 岡山大学情報データベースに様々なデータ(教育、研究、管理運営等)を蓄積するとともに、蓄積データを利活用する部門と連携し、より効果的な分析方法の検討を行う。	し、教職員のメールシステムが本学災害時にも運用できるシステムを平成26年6月末までに整備する計画で、事業継続計画を進めている。 更に、部局や研究室で管理しているサーバを集約することで、情報環境の整備と情報の安全性の向上を進めている。 ②ホームページやメール等を活用し、情報セキュリティに関する情報を随時周知した。国際社会が認めるISO27001に準拠した情報セキュリティマネジメントシステムの認証を11月に取得し、12月4日に報道発表を行った。情報セキュリティセミナーは、第1回を9月5日に津島地区及び鹿田地区で開催し、その内容を録画、ビデオ放映という形で第2回を開催した(津島・9月12日、鹿田9月18日)。不審メール訓練については、教職員に向け訓練を年度末までに実施する予定である。11月には、トレンドマイクロ社と包括ライセンス契約を締結し、学生・教職員にウィルスパスターの無償配布を開始した。これにより、情報セキュリティの益々の地を図った。なお、4月より独立行政法人情報通信研究機構(NICT)との共同研究によりサイバー攻撃の見える化を実現し、セキュリティに関する意識付けを行った。また、より柔軟な情報セキュリティ教育を実現するため、e-Learningによる情報セキュリティ試験の試行を11月から開始した。 ③前年に引き続き、必要な情報を大学情報データベースに蓄積するために、教員活動評価及び研究者カタログのデータ入力に係る運用補助を行い、データの充実を図った。岡山大学に求められている情報を収集するために教育開発センターが構築するFAQシステムの構築支援を行った。 蓄積データの利活用としては、産学官連携機構に論文データを提供すると共にアドミッショ
④-2 目標とする(重要視する)客観的指標 無線LANアクセスポイント 目標値:前年度比増 情報統括センター業務継続のための基礎的対策計画の作成 セキュリティマネジメントシステムの認証取得 情報セキュリティセミナー受講者数 目標値:前年度比増	ンセンターに新入学生データの提供を行うなど、関連部署が実施する分析業務における データの活用を支援した。さらに、研究情報の分析には、出版社等が提供する研究分析 ツールの利用も効果的であることから、その試行に向けてURAにデータ提供を開始した。ま た、学外に公表するデータについて就職・進学状況について一つのグラフで学部を選択す ることにより表示内容が変わるプロトタイプを作成し、企画・広報課と学務企画課に提案を 行った。更に、蓄積データを活用し岡山大学のグローバル化に係る分析を進めている。
『	

【総括記述欄】

全般的に今年度の組織目標を達成している。 情報化の推進体制を強化するため、執行部と直結し、CIO(情報化統括責任者)が統括し、学内の情報関連部署をとりまとめる情報戦略推進本部(仮称)の設置を企画して いる。来年度以降、新たな組織を活用し、情報化の推進に取り組む予定である。